

新型コロナウイルス感染予防対策について

【感染予防対策】

○大会開催における注意事項

- ・発熱（37.5℃以上）、咳、咽頭痛、息苦しさ、倦怠感、嗅覚味覚の異常等の体調不良症状がある場合は、参加を認めない。14 日以内に感染者との接触や濃厚接触者と特定された者も参加を認めない。過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- ・同居家族や職場の同僚、身近に接した知人に感染が疑われる方がいる場合の参加は認めない。
- ・選手、チーム関係者、役員、審判員は、可能な限りマスクを着用する。
- ・手洗い、うがい、マスク未着用時の咳エチケットを励行する。
- ・利用施設内におけるつばを吐く行為を禁止とする。
- ・大会参加者に感染が判明した場合には、健康チェックシートを保健所等の関係機関に公表する可能性があることを同意の上、参加する。

○参加者の対応

- ・参加者は、試合当日に検温・自身の体調確認を行う。
- ・チーム代表者は、試合当日に参加者全員の健康状態を確認し、メンバー表に体温を記入して会場担当へ提出。
- ・その他、判断が難しい場合は社会人委員会に連絡する。

○チームの対応

- ・試合会場には、各チームで消毒液を準備し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- ・タオル、ペットボトル、コップ等の共有は避ける。
- ・ウォーミングアップおよび試合において、選手が密集、密接する円陣や整列などは控える。
- ・試合開始前後のチームの整列は行わず、タッチライン上で審判による用具チェックの済んだ者からグラウンドに入場する。試合前のコイントスは、キャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することは行わない。
- ・肌が触れ合うハイタッチなどは行わない。
- ・ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する。ただし、熱中症予防に配慮する。
- ・ベンチ内では一定間隔を保つよう努力する。
- ・マスクを外して活動する場合は、十分に周囲の人との距離を空ける。
- ・密集、密接にならないように配慮する。
- ・試合終了後は、審判などの必要時以外は会場に残ったの観戦などは控える。
- ・チーム責任者は、試合前後にチーム内で新型コロナウイルス感染症に感染した者が出た場合は、速やかに大分市サッカー協会社会人委員会に連絡する。

○会場担当の対応

- ・当日の会場担当チームの代表者を当日の会場における感染対策責任者とする。
- ・会場担当チームは、各チームのメンバー表に参加者全員の体温が記載されていることを確認し、当日の運営を行う。メンバー表は、本大会終了まで必ず保管する。
- ・参加チームだけではなく、審判員にも健康チェックの実施を行う。

○参加者が陽性および濃厚接触者と判断された場合

保健所等からの指示に従い、許可が降りるまでは参加を不可とする。

○その他

リーグ参加者は、日頃からの感染予防に努めてください。サッカーを楽しむ環境を維持するためにも、社会人としてお互いに迷惑をかけないように配慮しながら、リーグへ参加してください。